

社会福祉法人リデルライトホーム

所在地：熊本市中央区黒髪5-23-1 創業：昭和27年5月
資本金：455,836千円 従業員数：183名 事業概要：介護サービス

資格を持っている介護職だけで介護現場のすべての業務を担うことが難しくなる中で、法人が運営する特別養護老人ホーム等で、ダイバーシティマネジメント（多様な人材が活躍できる環境整備）や、ICTの利用促進に取り組んでいる。

障がい者、アクティブシニア、外国人など、多様な人材に業務を担ってもらうことで、介護職が本来業務に集中できるようになり、業務の負担軽減と介護サービスの質の向上、職員の離職防止につながっている。

取組み前の課題

1. 県内定着
2. 人材育成
3. 生産性向上
4. 働きやすい職場環境
5. その他

介護職の負担増

- ・全国的に労働力が減少していく中で、資格を持っている介護職の確保が困難になっている。
- ・資格を持っている介護職が本来の介護業務に加え、介護以外の業務も行うことにより負担が増大している。

取組み後の成果（効果）

介護職の負担軽減と介護サービスの質の向上

- ・多様な人材（障がい者、アクティブシニア、外国人等）の雇用や活躍につながっている。
- ・資格を持っている介護職が本来の業務に集中できるようになり、介護サービスの質の向上につながった。
- ・休憩や休暇が取りやすくなり、残業も削減、離職率も年々低下している。



取組み内容・事業・導入したこと

ダイバーシティマネジメントの実施

- ・資格を持っている介護職だけでなく、障がい者、アクティブシニア、外国人など、多様な人材がそれぞれの能力を発揮し活躍できる環境を整備した。
- ・具体的には、資格を持っている介護職にしかできない業務と、それ以外の業務の切り分けを行い、資格が必要ない業務については細分化することで、障がい者やアクティブシニア等が働きやすい環境を整えた。
- ・入浴介助専門など職務内容を明確に定義したジョブ型の雇用を積極採用。特定技能実習生等の外国人についても雇用した。



ICTの利用促進

- ・IT委員会を立ち上げ、業務の細分化をした上で、スマートフォンの導入や勤怠管理のデータ化等、業務改善のためICT技術の利用を促進した。